

令和7年度 府中市立府中第九小学校授業改善推進プラン（各学年の取組）
第3学年における各教科で取り組む授業改善の具体的な取組

教科	教科の特質を踏まえた課題	課題解決のための授業改善策	達成の状況	
			2学期末	年度末
国語	- 漢字の学習や練習によく取り組むが、普段の文章の中で習った字を使うことが難しい。 - 自分が書きたいことを文章で正確に表現したり、文章から物事を理解したりすることが苦手の児童が多い。	- 指書きを徹底し、小テストを実施し、習熟を確実にしていく。【発見】 - 辞書の活用や児童同士の見合いを指導に取り入れる。【対話】 - 文章を書いた後は必ず読み返して、間違いを直す指導に取り組む。【発見】 - 書くことが苦手の児童には、簡単な質問をして、何を書けばいいか想起させながら取り組ませる。【発見】		
算数	- 長さや大きさに関しては実生活と結びつけることができず、身近なものの単位の感覚がつかめない児童がいる。 - 四則計算など計算の仕方は分かるが、ケアレスミスが多い。特にひき算の繰り下がりのしかたが身についていない児童が多い。 - 問題把握をする場面で、問題の意味を理解することに時間がかかる児童がいる。	- 算数学習の基礎となる生活体験、算数体験を意図的に取り入れる。【対話】 - 基礎、基本の定着を図るために、家庭学習を活用して算数の計算問題に繰り返し取り組ませる。【発見】 - 文章問題の重要な表現に線をひく、マークをつける習慣をつくる。【表現】 - 文章問題に取り組む際に、図に表す習慣をつくる。【表現】 - 自分が苦手としている分野のeライブラリを単元の終盤の習熟の時間に行う。【発見・決定】		
理科	結果を予想して自分の考えを表現することが苦手の児童が多い。	- 動画やイラスト、ICT機器を活用し、様々な角度から考察する経験を培う。【発見】 - 実験の行い方が分かるようなワークシートの工夫を行う。【発見】		
社会	資料から情報を正しく取り出したり、取り出した情報を比較・関連付けたりすることが難しい。	- 資料を読み取る時には、どのようなことに気を付けて見ればいいのか分かるように、ICT機器等を活用して視点を与える。【発見】 - 比較・関連付けをする時には、「どこが似ている」「どこは違う」など相違点をはっきりさせる。【決定】		
音楽	技能面で、リコーダーの運指やタンギングの定着をはかるのに時間がかかる児童がいる。	基礎的な奏法や音符のきまりを身に付け、技能の習得のために継続的な取り組みで定着を図るようにする。【対話】【表現】		
図画工作	自ら考え、思いに合わせて材料を工夫することに課題が見られる。	- 造形あそびの題材で、自分から材料に関わり、材料に慣れる機会を増やす。【発見】 - 材料の工夫を友達と共有し、材料への理解を深めさせることで、自分で考え工夫できるようにする。【対話】【表現】		
体育	互いにアドバイスをする経験が少なく、助言をすることが難しい児童が多い。	- 助言に関するポイントや、今までの学習で出てきたコツをまとめたカードを活用し、助言に役立てられるようにする。【発見】 - 児童のコツが書き込めるイラストや図をカードに使い、印象づけられるようにする。【表現】		

※達成の状況は、A：十分達成できている、B：概ね達成できている、C：あまり達成できていない、D：達成できていないで、2学期末、年度末に評価する。
末に評価する。